

2025年「手話言語の国際デー」ライトアップ

令和7年9月23日（火）日沈から21時まで

ブルーライトに染まった文翔館

をみんなで一緒に見よう！



ブルーライトアップ概要

【日時】令和7年9月23日（火）日没後～21:00

【会場】山形県郷土館 文翔館（山形市旅籠町3-4-51）

【イベント】15:00～日没まで

手話にチャレンジしてみよう！ミニ手話教室など

9.23手であつながる、心がひらく。

9月23日は「手話言語の国際デー」、そして「手話の日」。

手話も大切な言語のひとつです。

手で語り、心であつながる。

すべての人が、思いを伝えあえる社会へ。

世界中がブルーライトに染まる日です。

さあ！青いものを身に付けて、出かけてみよう♪



INTERNATIONAL DAY
OF SIGN LANGUAGES

手話言語の国際デーのロゴ



INTERNATIONAL WEEK
OF DEAF PEOPLE

国際ろう者週間のロゴ

主催：一般社団法人山形県聴覚障害者協会 協力：山形県手話通訳問題研究会／山形県手話サークル連絡協議会

主催団体連絡先 〒990-0021 山形市小白川町 2-3-30

TEL／023-615-3582 FAX／023-615-3583 メール／ymgt-d-a@lapis.plala.or.jp

手話言語の国際デーとは？

「手話言語の国際デー」は毎年9月23日に制定された国際的な記念日です。(日本を含む98カ国)

2017年12月19日、国連総会にて正式に決議され、「手話言語が音声言語と対等であることを認め、ろう者の人権が完全に保障されるよう国連加盟国すべてにおいて手話言語についての意識を高める手段を講じることを促進する」とされています。

国内においても2025年6月25日の手話施策推進法成立に伴い、9月23日は「手話の日」にもなりました。

わたしたちろう者にとって生活のあらゆる場面で、手話言語によるコミュニケーションや情報提供が保障されることは、きこえる人とともに暮らせる「共生社会」の一步となります。

ブルーの光に願いを込めて、世界中で手話の大切さを伝えるこの日に私たちの街がブルーに染まります。手話は「見える言語」。すべての人がつながる社会を願っています。



INTERNATIONAL DAY
OF SIGN LANGUAGES

手話言語の国際デーのロゴ

2025 テーマ

手話言語権は
人権だ！



▲特集ページ▲

全日本ろうあ連盟

「手話言語の国際デー・

国際ろう者週間・手話の日」

ブルーライトアップ山形県内の会場のご案内(文翔館以外)

酒田市 9/23 日和山公園六角灯台 日没~21時

鶴岡市 9/23 荘銀タクト エントランスホール

新庄市 9/23 新庄駅前・モミの木・モニュメント

きこえない・きこえにくい人のオリンピック

東京2025デフリンピックを応援しよう！

【デフリンピックとは】

4年に1度開催される、きこえない・きこえにくいアスリートのための国際スポーツ大会です。日本初開催となる2025年は、100周年の節目となる大会です。

【開催日程】 11/15(土)~26(水)

【参加国】70~80カ国・地域 【選手数】約3,000人 【競技数】21競技

【競技会場】東京都内会場、福島県、静岡県

★サッカー競技★

【日程】 11月14日~25日

【会場】 福島県Jヴィレッジ(福島県双葉郡楡葉町山田岡美シ森8)



TOKYO 2025
25TH SUMMER DEAFLYMPICS



~全国47都道府県を巡る全国キャラバン活動~
北と南から東京2025大会PRカーが大会開催都市の東京を目指し日本全国を駆け抜けています。山形県内も6/23~7/2に巡回しました。その様子は是非動画でご覧ください。

↓キャラバン活動

